

2. 中心市街地の活性化について（問4～問6）

問4 中心市街地へはどのような目的で行かれましたか。（複数回答：n=2,415）

（1）全体的傾向

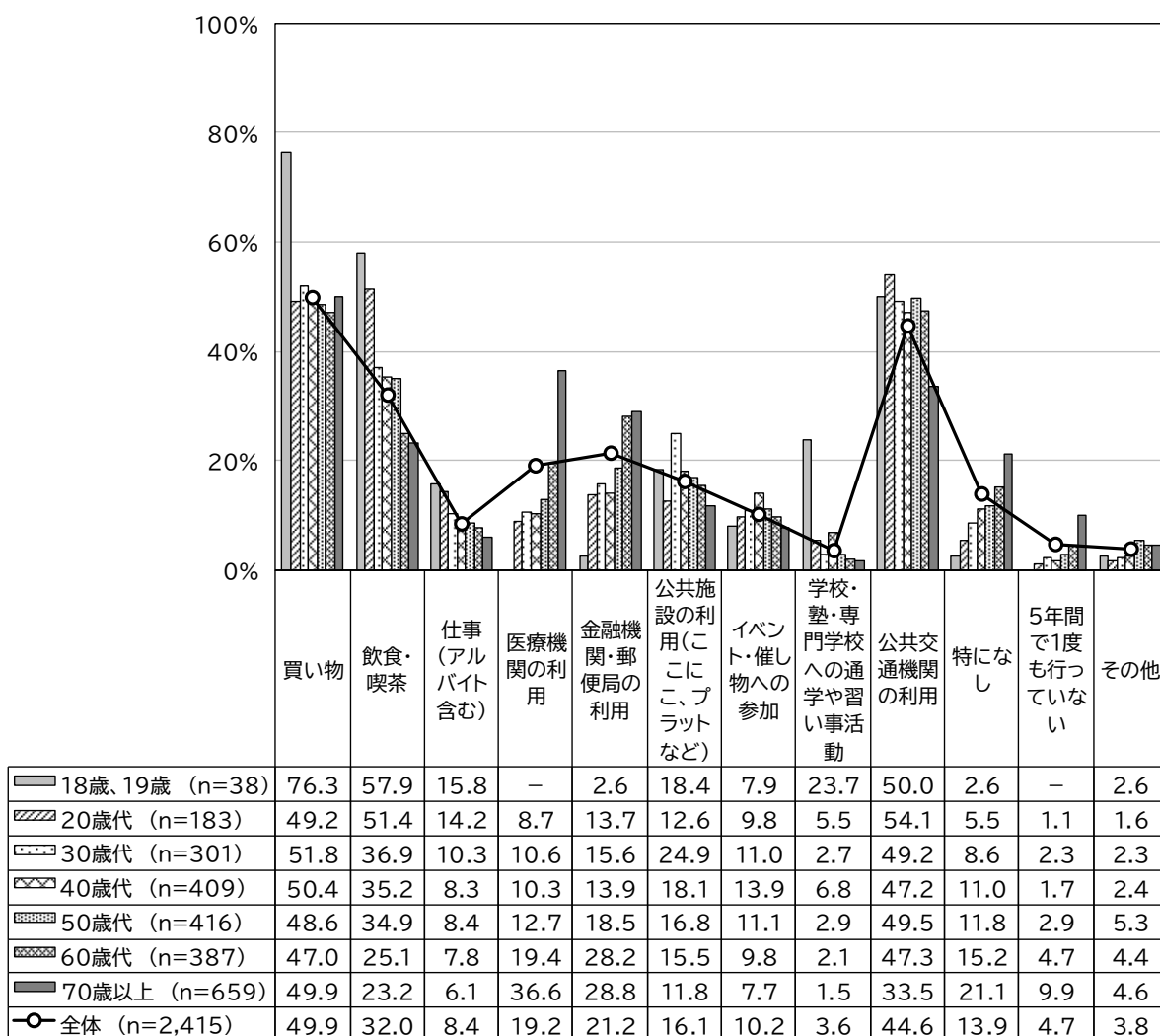
「買い物」と回答した人の割合が49.9%で最も高く、次いで「公共交通機関の利用」（44.6%）、「飲食・喫茶」（32.0%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「買い物」と回答した人の割合が高く、特に18歳、19歳は、76.3%と他の年代と比べ高くなっている。

また、60歳代以下は、「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が47.2%～54.1%と高くなっている。

一方、70歳以上は、「医療機関の利用」と回答した人の割合が36.6%と他の年代と比べ高くなっている。



問5 現在の中心市街地は、概ね5年前と比べにぎわいが増していると思いますか。
(n=2,464)

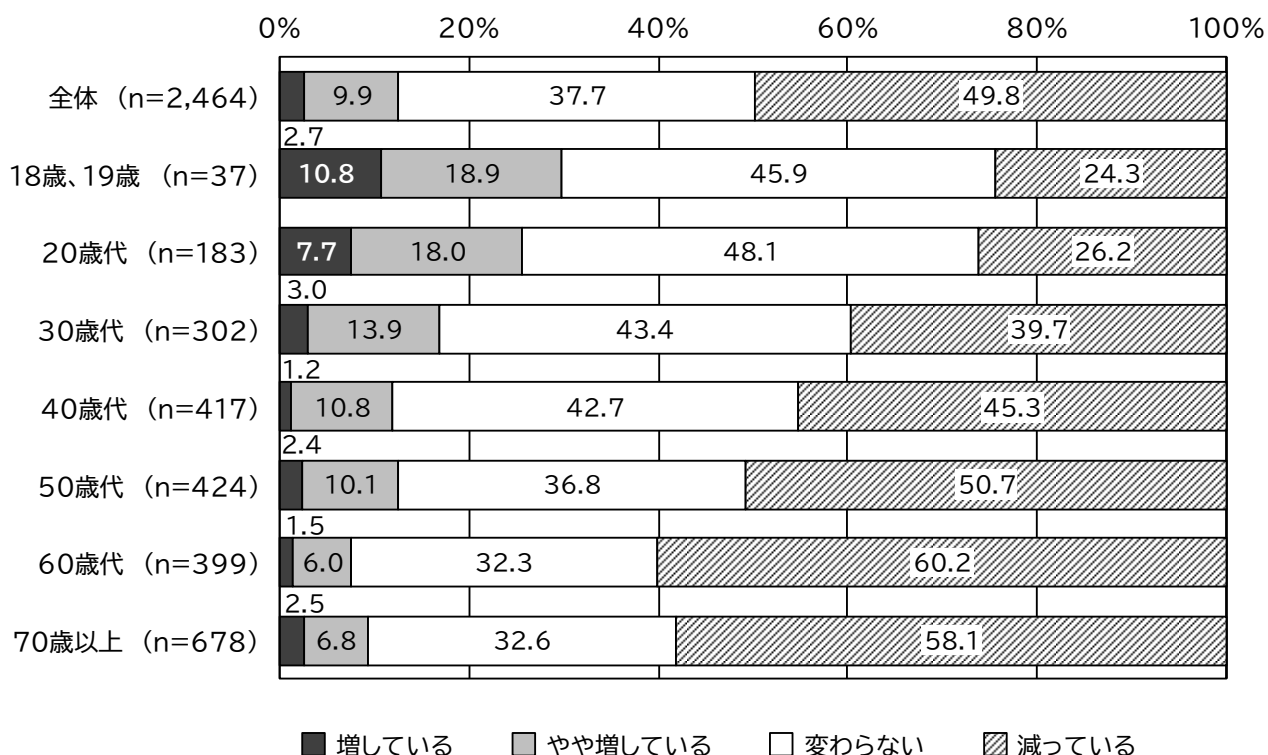
(1) 全体的傾向

「減っている」と回答した人の割合が49.8%と最も高く、次いで「変わらない」(37.7%)、「やや増している」(9.9%)、「増している」(2.7%)となっている。

(2) 年代別にみた特性

「増している」、「やや増している」と回答した人を合わせた割合が、年代が低くなるほど高くなる傾向があり、18歳、19歳は29.7%となっている。

一方、「減っている」と回答した人の割合は、年代が高くなるほど高くなる傾向があり、50歳代以上は、50.7%～60.2%と5割を超えている。



問6 現在の中心市街地をより活性化させるためにどのような取り組みが重要だと思いますか。（複数回答：n=2,467）

(1) 全体的傾向

「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が65.0%で最も高く、次いで「空き店舗や駐車場等の低未利用地の活用」(43.8%)、「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」(42.4%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が最も高く56.7%~74.1%と5割を超えている。

また、18歳、19歳は、「イベント等の実施や開催の支援」、「通りの景観や歩行空間の環境整備」と回答した人の割合が42.1%、70歳以上は、「公共交通機関や自転車で訪れやすくする環境づくり」と回答した人の割合が36.0%、「住民・事業者・市民団体等による自主的なまちづくり活動の促進」と回答した人の割合が17.2%と他の年代と比べ高くなっている。

